

「女川元気会」の活動記録

(2011～2018) -抄録-



「女川元気会」の活動記録(2011～2018)―抄録―

平成23年(2011)3月11日午後2時46分M9.0の大地震発生。同3時25分大津波が岩手・宮城・福島沿岸地帯を襲う。女川の津波の高さは15～20メートル。のちに東日本大震災と呼ぶ。

平成23年3月11日時点の女川町の人口：10,014人

被災による死者：518人

死亡認定者：296人(死亡届を受理された方)

行方不明者：13人

確認不能者：4人

(*いずれも平成24年5月13日 町民課調べによる)



平成23年(2011)

3月26日 ・女川支援活動の準備会を開催

3月29日 ・支援物資(下着、ガソリンなど)を女川に届ける。

4月

- ・女川第一中学校卒業生を主体に支援団体「女川に元気を送る会」を結成。会代表・村井善郎(都立多摩北部医療センター副院長[当時])と今野順夫(福島大学前学長)、中村雅俊(俳優)が代表呼びかけ人となって支援金募集を始めた。

7月2日

- ・3か月という短期間にも関わらず、1千万円以上の協力があつた。「支援金は子どもたちのために使っただきたい」と用途の希望を述べて、安住女川町長(当時)に目録を手渡した。

7月9日(土) 於・飯田橋 エーザイCo

- ・女川に元気を送る会 集会
会結成後、初の集会を開催、33人が参加した。終了後、懇親会。

11月19日

- ・女川在住者との対話会を女川で行う

11月20日

- ・ウェイアウト東京ビッグバンド女川公演支援
石巻北部バイパス仮設住宅(屋外)と女川第二小学校体育館で公演。

古里思い1200万円寄付

女川一中同窓生ら募金の輪

古里を離れて暮らす女川一中の同窓生が設立した「女川に元気を送る会」(村井善郎会長)は2日、女川町を訪れ、集めた募金の目録を安住宣言町長に手渡した。同じく同窓生で、独自に寄付活動をした和田京子さん(67)も同様に目録を渡した。寄付は、女川に元気を送る会が905万8905円、和田さんは300万円を合わせると1200万円を超える。

村井会長は「震災の惨状を見るにつけ、女川人として居ても立ってもいられなかった。寄付には古里を思う熱い気持ちが詰まっている。復興のため、特に女川の子どものために使ってほしい」と、募金に応じた一人一人の名簿を安住町長に見せながら話した。和田さんは化粧品会社を経営しており、ポケットマネーに加え、従業員



女川一中同窓生が集めた募金目録を安住町長に手渡した村井会長(左から2人目)―女川町災害対策本部

仕事関係者からの善意を集めた。安住町長は「みなさん、卒業し、現在は東京都多摩医療センターの副院長を務める村井会長(64)に感謝」

の思いを受け止め、大切に使用していただきませうとお礼を述べた。女川に元気を送る会は、1944年に同中を卒業し、現在は東京都多摩医療センターの副院長を務める村井会長(64)に感謝



女川の皆さんと対話会

ら有志が働き掛けた。募金の輪は、インターネットなどを通じて広まり、全国各地に住む同窓生らが応じた。

(石巻かほく 平成23年7月3日掲載)

平成24年(2012)

2月3日

- ・女川第一中学校立志の会支援参加
- ・千葉県市原市立三和中学校から女川第一中学校へ花時計贈呈（市原・三和会の協力による）



女川第一中学校立志の会

3月10日

- ・女川第一中学校卒業式に参列

5月19日（土）於・新宿パークタワー エーザイCo

- ・女川に元気を送る会 年次総会開催（参加38人）
講師：阿部定次氏（前女川町教育委員会委員長）
「女川の今、子どもたちの今」
総会終了後、懇親会。



女川に元気を送る会 総会

8月12日（日）

- ・女川町教育委員会生涯学習課 つながる図書館へ図書カード贈呈。
- ・女川在住者との懇談会
参加者：須田町長以下7人と村井代表以下6人。
10月に開催される「おながわ秋刀魚祭」への協力などについて打ち合わせる。



「おながわ秋刀魚収穫祭 in 日比谷」

10月20日（土）東京・日比谷公園

- ・東京都と（財）都市緑化機構主催の催事「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」の一環として開催された「おながわ秋刀魚収穫祭in日比谷」に協力支援。元気を送る会会員74人がボランティア参加。この催事は、被災地女川の瓦礫約10万トンの処理をいち早く申し出てくれた東京都に対して、女川町民のお礼の気持ちを込めたイベントで、さんま10トンを秋刀魚収穫祭に無償提供しようというもの。主催者発表によると当日の来園者数は20万人だった。行事終了後、有志で懇親会。



人気だった女川汁



おながわ秋刀魚収穫祭終了後の懇親会



平成25年(2013)

2月

- ・小川原幸一氏寄贈「あかり」贈呈式に出席
- ・女川街並み復元計画について女川在住者との意見交換会に参加

3月9日・女川第一中学校卒業式参列

(小中学校は統合され、以後校名を変更)

3月30日(土)

- ・「いのちの石碑」建立活動を立ち上げた中学生に、支援金を渡す。
- 板碑・デザインのレクチャーをする。

4月18日

- ・女川中の生徒が修学旅行で上京。「いのちの石碑」建立運動のPRのためサンケイ新聞社を訪問。サンケイを紹介した当会世話人が立ち合う。

4月20日(土) 於・新宿パークタワー エーザイCo

- ・女川に元気を送る会 年次総会開催

講師：元木幸市氏(社会教育指導員)

「おながわつながる図書館運営報告」

講師：三宅宗議氏(日本考古学協会会員)

「女川の残したい地名」

合唱：作曲家岡田京子さんの指導で「わたしの女川」を全員で歌う。

オブザーバーとして女川さいがいFMの3人参加。

11月20日(水)～21日(木) エル・ファロ宿泊

- ・第1回慰霊の旅「女川と一緒に帰ろう～慰霊の旅」朝8時30分チャーターバスで東京駅八重洲口(鍛冶橋)出発、2時女川到着。慰霊碑前で供花、照源寺住職による読経。語り部の案内でいのちの石碑建立場所など町内一周。夕食時は副町長や議員を招いて懇親会。翌日はカタール国寄贈の冷凍冷蔵倉庫(マスカー)や魚市場を見学。希望の鐘商店街、高政、マリンパルで買い物し、帰途につく。

11月23日(土)

- ・いのちの石碑 除幕式に参列



サンケイ新聞社の記者に取材を受ける女川中の生徒たち



総会で「わたしの女川」を歌う



第1回慰霊の旅で、慰霊碑にお参りする参加者



いのちの石碑の説明を聞く



カタール国から寄贈された冷凍冷蔵倉庫を見学

平成26年(2014)

2月6日

- ・女川中学校立志の会参列

3月

- ・女川中学校卒業式参列

4月8日

- ・女川中学校入学式参列

4月12日(土) 於・新宿パークタワー エイザイCo

- ・女川に元気を送る会 年次総会

講師：須田善明氏(女川町長)

「女川の復興状況と課題」

講師：鶴賀康久氏(カタリバ東北復興事業部)

「女川向学館の活動について」

総会終了後、懇親会。

7月

- ・女川向学館へ応援資金を寄付

7月25～26日

- ・埼玉県草加市花栗商店街で募金活動

9月

- ・女川つながる図書館へ応援資金を寄付

9月28日(日)～29日(月) 宿泊：ステイイン鈴屋

- ・第2回慰霊の旅。今回の旅の主な目的は、半島の漁村の現状と女川つながる図書館、女川向学館の視察。

1日目。慰霊碑で照源寺住職による供養。つながる図書館、女川向学館視察。その後五部浦地区を巡り高白区長の話聞く。夜は金華楼で地元の有志を招いて懇親会。2日目は宮ヶ崎から尾浦、指浜へ。カキ養殖の苦労話を聞く。マリンパル、高政などで海産物を購入し帰途につく。

11月8日～9日

- ・千葉県市原市三和コミュニティ祭で女川の焼きさんま1,000匹の販売員として参加



女川湾



第2回慰霊の旅



女川向学館視察



いのちの石碑建立場所

平成27年(2015)

2月6日・女川中学校立志の会参列

2月26日～28日

- ・上野駅で女川・石巻の物販会開催
石巻線全線開通のPR、販売員として協力。

3月7日・女川中学校卒業式参列

3月21日～23日

- ・2015女川復幸祭に大漁旗とクオカードの景品贈呈

3月30日

- ・女川向学館の生徒から手作りの感謝状をいただく

4月8日・女川中学校入学式参列

5月30日(土) 於・新宿パークタワー エイザイCo

- ・女川に元気を送る会 年次総会
会名変更案「女川元気会」とする。
講師：佐藤由里氏(女川町健康福祉課)
「女川町の今とこれから～保健活動からの報告」
講師：阿部喜英氏(復幸まちづくり女川合同会社代表)
「震災、そして4年、新しい女川の誕生に向けて」
総会終了後、懇親会。

7月24日～25日

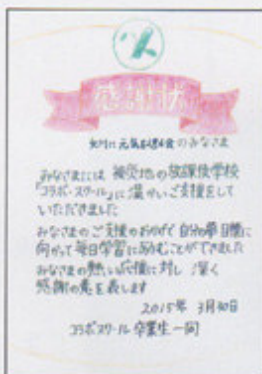
- ・埼玉県草加市花栗商店街で募金活動

9月26日(土)～27日(日) 宿泊：エル・ファロ

- ・第3回慰霊の旅。仙台駅東口から黄金バスで女川へ。
慰霊塔で供花・供養。女川医療センター視察後、被災者の体験談を聞く。女川向学館視察と支援金贈呈。夜は町長はじめ地元の有志を招いて懇親会。2日目は桐ヶ崎、尾浦、御前浜、指浜と雄勝を視察。海中清掃などで活躍する「石巻海さくら」の高橋さんから話を聞く。海産物などを購入し帰途につく。

4月～12月 毎月第2木曜日(全9回開催)

- ・草加市役所の女川・石巻・福島の物販販売会に参加
埼玉県草加市、草加市社会福祉協議会の協力による。



女川向学館で学ぶ女川中学生が手作りのお礼状を持って上京



第3回慰霊の旅、エル・ファロ前で



女川医療センターで



被災された方の体験談を聞く



女川湾の海底の様子などを聞く

平成28年(2016)

1月5日・女川中学校立志の会参列

3月1日、22日、4月、6月、8月、10月、12月

・皇后陛下御歌碑建立準備委員会及び設立委員会に出席

3月6日・石巻支援三七会主催の東日本大震災チャリティイベントに参加

3月7日・映画「サンマとカタル」試写会に参加

3月～4月

・女川中学校卒業式、入学式、文化祭に参列
・女川中学校の部活動へ応援資金を寄付

3月26日

・2016 女川復幸祭に大漁旗とクオカードを提供

5月21日(土) 於・新宿パークタワー エイザイCo

・女川元気会 年次総会

講師：鈴木成夫氏(竹浦行政区長)

「震災後の竹浦地区復興へのあゆみとこれから」

講師：須田善明氏(女川町長)

「まちは時代とともに変わる～復興まちづくりを通じて産み出すべきもの～」

総会終了後、懇親会。

10月1日(土)～2日(日) 宿泊：エル・ファロ

・第4回慰霊の旅～仙石東北ラインを使って～

11時30分石巻駅集合。黄金バスで女川へ。慰霊碑に供花、照源寺住職による供養。女川魚市場管理棟視察。女川向学館を訪れて支援金贈呈。夜は町長ほか地元の有志を招いて懇親会。2日目は潮プランニングの客船で海上供養と湾内観光。船長に海上で遭遇した恐怖の津波体験を聞く。その後まちなか交流館で、地元で活躍している女性の方々と交流。

・女川町民への医療支援

村井善郎代表が3年にわたって女川地域医療センターで医療活動。



総会の講師をお願いした鈴木氏と須田女川町長



第4回慰霊の旅、慰霊碑に合掌する



完成した女川魚市場管理棟を視察



女川向学館で先生の説明を聞く

平成29年(2017)

1月5日・女川中学校立志の会参列

3月・女川中学校卒業式、入学式、文化祭に参列

- ・女川中学校部活動への応援資金を寄付
- ・カタリバ女川向学館へ支援金寄付

3月17日・天皇皇后両陛下下行幸啓碑・皇后陛下御歌碑
建立除幕式に出席

碑のデザインは三宅副代表。

6月3日(土) 於・新宿パークタワー エイザイCo

・女川元気会 年次総会

講師：阿部明彦氏(女川町副町長)

「女川町の復興状況について」

講師：佐藤敏郎氏(元女川第一中学校教諭)

「3.11を学びに変える」

総会終了後、懇親会。

7月1日・合同コンサート 於・まちなか交流館

女川コーラス・ソレイユと在京のはるのミュージック
アカデミーとの合同コンサート。準備から開催まで、
女川元気会が後援した。

9月30日(土)～10月1日(日) 宿泊：エル・ファロ

・第5回慰霊の旅。10時仙台駅東口集合。黄金バスで
女川へ。まちなか交流館で、震災後他所の地域から
女川に定住した人や、地元で活躍している若者たち
と交流会。夜は金華楼で町長ほか交流会に出席した
方々を招いて懇親会。2日目、船で出島へ。島の方
たちに震災時の話を聞いたり交流、歓迎される。帰
港後、慰霊塔前で照源寺住職による供養。バス出発
まで駅前商店街など散策。2時仙台へ、帰途につく。

・女川町民への医療支援

村井善郎代表は、30年3月まで女川地域医療センタ
ーで医療活動を継続。

・千葉県市原市三和地区の三和コミュニティーと女川
の交流活動。三和会の谷会長が女川元気会の副代表
ということもあって、三和中学校と女川中学校との
交流が続いている。



天皇皇后両陛下下行幸啓碑、皇后陛下御歌碑除幕式



合同コンサート



第5回慰霊の旅。女川で活躍する若者たちとディスカッション



訪れた出島(いずしま)の皆さんと



手作りのおにぎりや漬物でおもてなしを受ける

平成30年(2018)

3月10日(土)

- ・女川中学校卒業式参列

4月9日(月)

- ・女川中学校入学式参列

4月14日(土)

- ・女川中PTA総会で支援金寄付に対して感謝状をいただく

6月2日(土) 於・新宿パークタワー エイザイCo

- ・女川元気会 年次総会

会名変更提案「おながわ会」とする。

講師：近江弘一氏(コバルトール女川代表)

「コバルトール女川」とともに」

講師：須田善明氏(女川町長)

「女川のこれから〜とがった町とは」

総会終了後、懇親会。



2011. 5. 13 (鷺神)



2017. 10. 1 (出島)



2015. 9. 26 (慰霊碑前)



2015. 9. 27 (女川駅)



2017. 9. 30 (エル・ファロ前)

<私たちの活動について>

1) 女川に元気を送る会(平成23年)

—基本的に子供や文化活動支援—

- ◆義援金を3か月で達成。その後も町の諸団体に支援金を寄付

- ◆支援期(平成23年～平成27年)

・町出身者との交流や慰霊の旅などの実施

(女川の人たちに、むしろ逆に元気づけられた

—会名変更の動機になった—)

・各イベントへの参加(日比谷公園での秋刀魚収穫祭/女川復幸男など)

・教育支援(女川中学校立志の会/女川向学館 女川つながる図書館/いのちの石碑など)

2) 女川元気会(平成27年～平成29年)

—女川の人たちに寄り添う活動—

・町出身者との交流/慰霊の旅/御歌碑建立/医療支援など